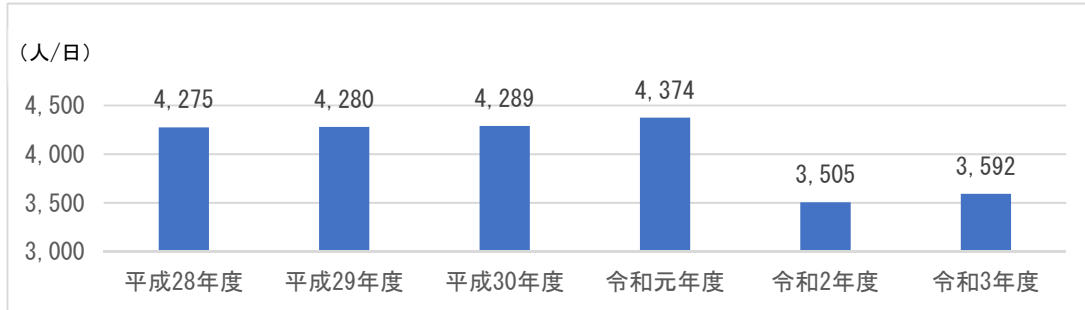


# 佐屋駅周辺整備勉強会

## 1. 佐屋駅の概要

### (1) 乗降客数

令和元年度の乗降客数は4,374人/日と過去5年で最多となっている。しかし、令和2年1月以降、新型コロナウイルスの流行により外出の自粛やテレワーク等が推進され、令和2年度は令和元年度の約80%の乗降客数となっている。



### (2) 佐屋駅周辺道路

#### 1) 名鉄西側

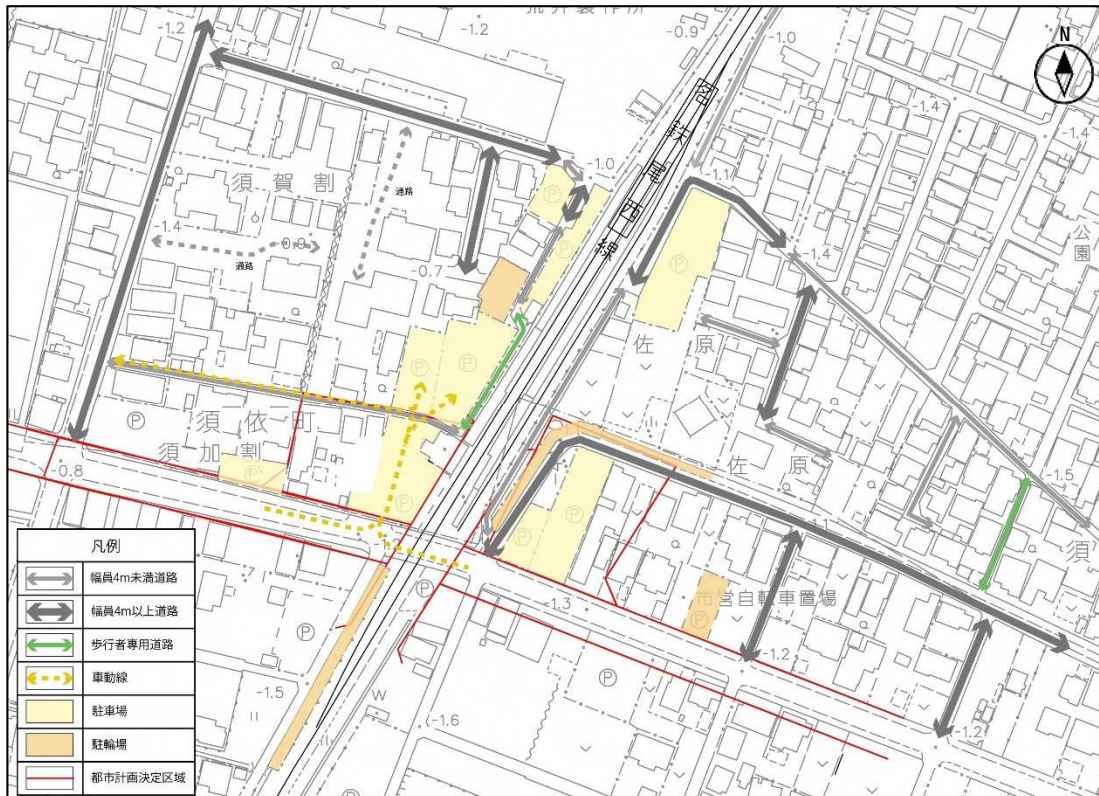
駅前広場へのアクセスは、県道佐屋多度線が主となっており、北側から車両でアクセスできる道路がない。また、県道佐屋多度線以外の周辺道路は狭隘道路となっている。

#### 2) 名鉄東側

駅前広場へのアクセス道路の一部が都市計画決定区域内に含まれている。また、北側からも駅前広場へアクセスが可能となっている。

### (3) 佐屋駅周辺駐車場等

駅周辺には月極駐車場や時間貸駐車場などが多く存在する。また、軌道敷の西側及び東側には市営駐輪場が整備されており、多くの方が利用している。



## 2. 前提条件

### (1) 整備内容

#### 1) 鉄道と道路の立体交差化による影響を見据えた整備

将来予定されている鉄道の高架化に必要なスペースへ恒常的な機能を配置しない。

#### 2) 公共交通（愛西市巡回バス）の停留所の整備

愛西市内を走行する愛西市巡回バスが駅前広場を利用できるような整備を行う。

### (2) 整備に向けた課題

#### 1) 西側

課題 ① 駅前広場の整備により、行き止まりが一箇所発生する。

課題 ② 整備した駅前広場を横断してアクセスしなければならない土地が発生する。

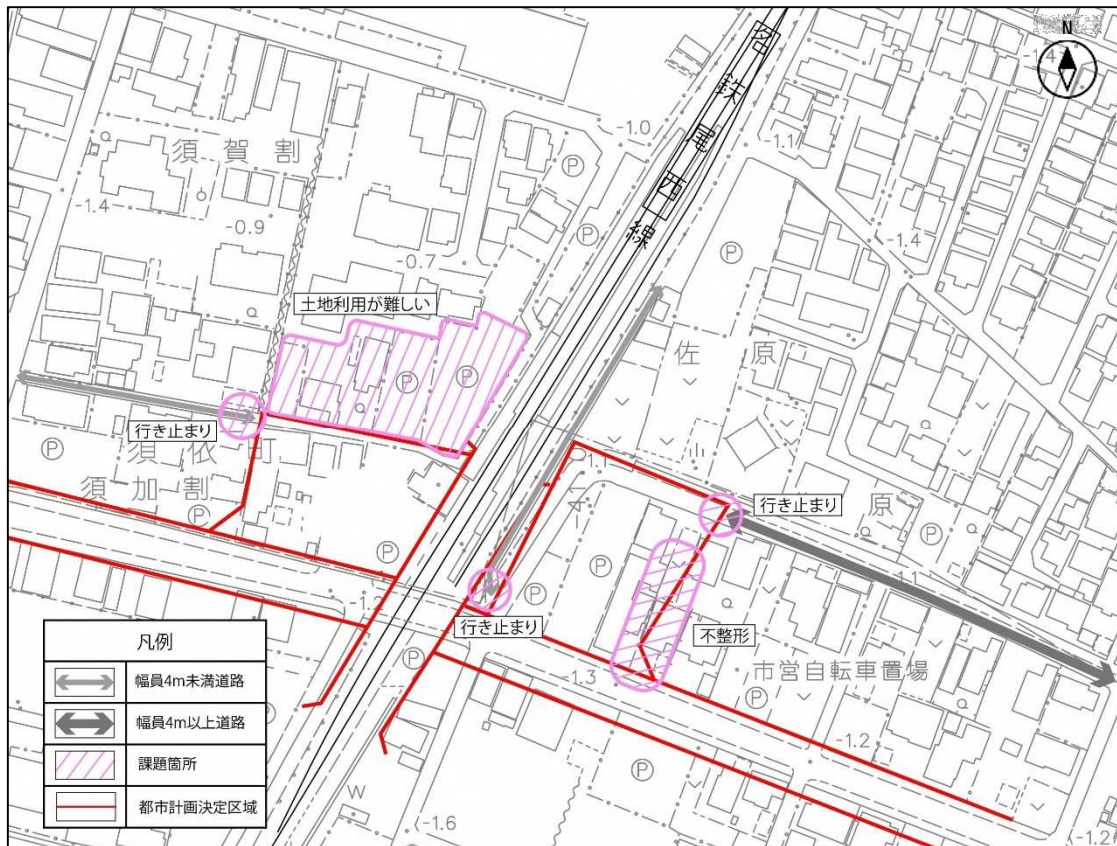
課題 ③ 駅前広場整備により、隣接する土地の利用が難しくなる。

課題 ④ 北側から駅前広場へ車両でアクセスできない。

#### 2) 東側

課題 ① 駅前広場整備により、行き止まりが二箇所発生する。

課題 ② 都市計画決定の法線が不整形となっている。



### 3. 佐屋駅前広場の考え方

将来像 (案)

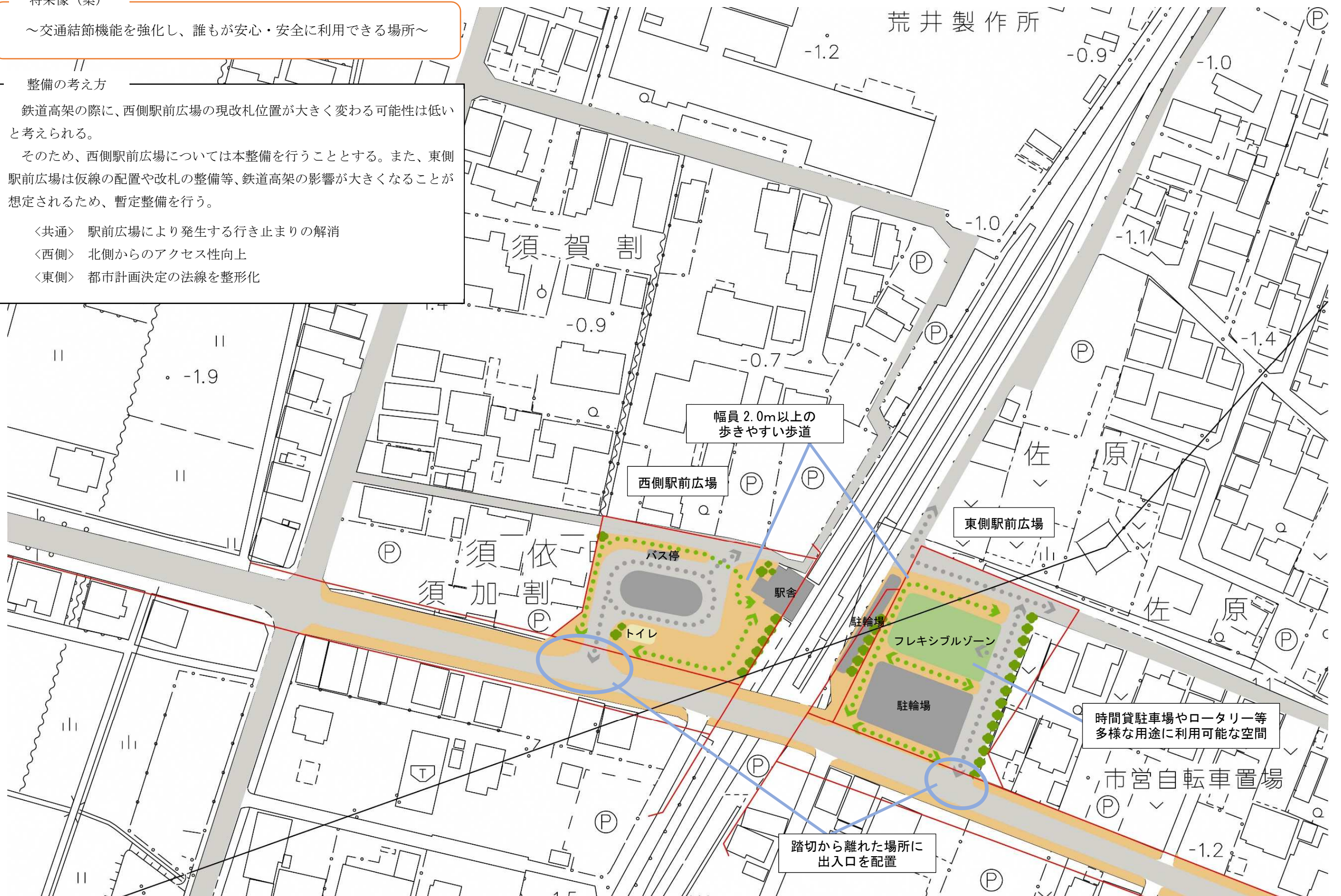
～交通結節機能を強化し、誰もが安心・安全に利用できる場所～

整備の考え方

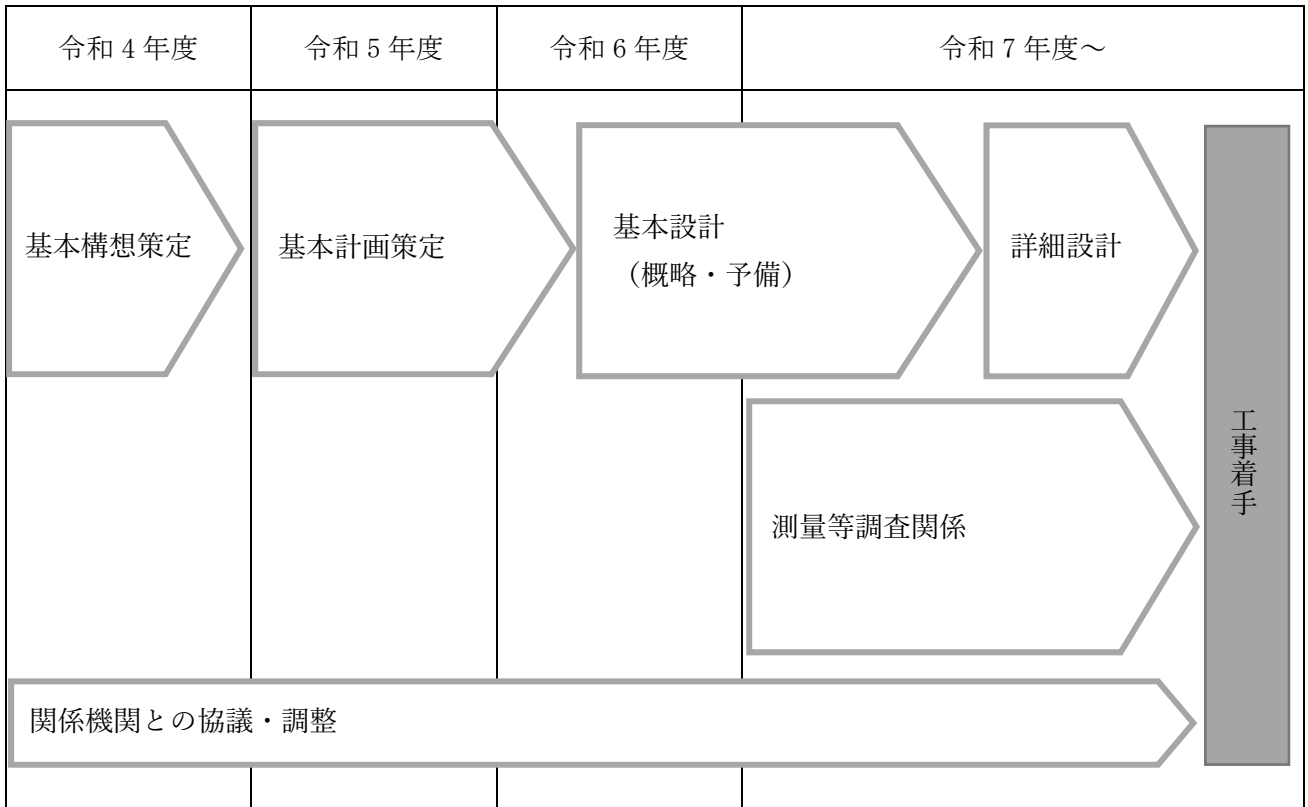
鉄道高架の際に、西側駅前広場の現改札位置が大きく変わる可能性は低いと考えられる。

そのため、西側駅前広場については本整備を行うこととする。また、東側駅前広場は仮線の配置や改札の整備等、鉄道高架の影響が大きくなることが想定されるため、暫定整備を行う。

- 〈共通〉 駅前広場により発生する行き止まりの解消
- 〈西側〉 北側からのアクセス性向上
- 〈東側〉 都市計画決定の法線を整形化



【今後のスケジュール】



※関係機関との協議・調整等により、変更する場合があります。